

進路だより

県立向の岡工業高等学校 定時制総合学科
学習支援グループ 令和2年12月4日発行（第177号）

【全年次】

県立職業技術校(かなテクカレッジ) 若年者職業能力形成支援枠 東部校「自動車整備」、西部校「ICTエンジニア」合格

(1) 「自動車整備コース」 1名

① 「かなテク」で自動車整備士を目指す

神奈川県立東部総合職業技術校（かなテクカレッジ東部校）（横浜市鶴見区）の自動車整備コースに、1名合格しました。応募倍率2.4倍という高倍率の中で合格することができました。

自動車整備士になるためには「専門学校」「職業技術校」等に通い、資格取得を目指す必要があります。かなテクの「自動車整備コース」では、「二級自動車整備士」（二級ガソリン自動車整備士、二級ディーゼル自動車整備士）の受験資格が得られ、さらに実技試験が免除されます。

② 合格した生徒

合格した生徒は、本校に入学して間もなく、「将来は自動車整備士になりたい」と考えるようになりました。卒業後は、安価な授業料で技術を身に付けることができる「かなテク」を選び、入校対策の勉強は2年次の秋から始めました。

専門的な内容に関する学習や試験対策は次のような形で行いました。



方法	関連する内容
選択科目「自動車工学」（2年次）	自動車の構造に関する学習
選択科目「ものづくり技術Ⅰ（探求）」（3年次）	自動車整備に必要な数学等
選択科目「実習」（3年次）	電気回路、溶接等
学習支援員による学習指導（2・3年次）	過去問題（国語、数学）の勉強
教員による面接練習（3年次）	面接試験対策
自宅での学習（2・3年次）	過去問題（国語、数学）の勉強

③不足する「自動車整備士」

日本自動車整備振興会連合会によると、自動車整備士の人数は、6年前の平成26年は342,486人だったのに対し、平成31年度は336,897人でした。6年間で約5,500人以上減少しています。

さらに平均年齢も6年間で「43.8歳」から「45.5歳」と上昇しています。つまり、若い整備士が増えず、現役で働いていた自動車整備士の引退などの理由から整備士人口が減少し、高齢化が進んでいることがわかります。

一方、整備工場の数はほとんど変わっていないので、多くの整備工場が整備士不足の状態です。

(2)「ICTエンジニアコース」1名

神奈川県立西部総合職業技術校（かなテクカレッジ西部校）（秦野市）のICTエンジニアコースに、1名合格しました。合格した生徒はIT関係の技術者を目指しており、昨年度の段階から「かなテク西部校ICTエンジニアコース」を希望していました。

学習支援員の方より過去問題の解説を受け、勉強するとともに、オープンキャンパスに参加するなど、入校試験に向けての準備を進めていました。また、放課後には面接練習もしました。IT関連のコースは人気が高く、試験対策が必要です。

本校定時制は「総合学科」であり、高度な技術を要求される職種に直接就職することは難しい状況です。しかし、希望する職種をあきらめるのではなく、「かなテクカレッジ」などの職業訓練を活用することも一つの方法です。

フォークリフト運転特別教育講習 参加希望者募集！

期 日 令和3年1月16日（土）～17日（日）

時 間 8時40分～16時10分

場 所 本校敷地内

講習費用 ~~¥12,600~~ → 学内特別割引価格

¥9,600

申込期限 令和2年12月15日（火）21時15分

※申し込みは定時制工業科教員へ

《引用・出典》

・イラストエイト

・平成31年度自動車分解整備業実態調査結果の概要について（令和2年1月23日）

一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会 調査企画部 調査企画課

